

栄小学校のESD活動

＜活動の概要＞

・「心に残る授業・未来の自分や社会に生かせる学びの実現」

具体的な取り組み

①心に残る授業の実践 ②SKEあいさ運動 を活動の柱に、ねらいに迫る教育活動に取り組んだ。

・活動の実際

①「受け継ごう“さかえ碑 story”」(6年みどり学習)

6年生になり栄校区の歴史を学ぶ中で、戦争遺跡の多さに気がつい子どもたちは、現代の「戦争」について想像し、戦争の悲惨、苦しい、辛いなどのイメージを持つ。そこで「受け継ごう“さかえ碑 story”」の学習では、「戦争中はどんな生活だったんだろう」という子どもの疑問から、身近に残る戦争遺跡を調べたり、ゲストティーチャーを迎えて、語り継がれている戦争に関する講話を聞いたりして関心を高めていった。さらに社会科の歴史を学ぶ中で「戦争がなぜ起こったのか、日本はどうして戦争への道を歩んだのか」を学習し、市内に残るいくつもの戦争遺跡を見学して、戦争への興味を深めていった。学びを通して、戦争は勝ち負けに関わらず、人々にとって悲惨で辛いことであること「戦争は二度と繰り返さない」という気持ちを持ち、自分たちがこれからも平和を築いていくという考えを持つようになった。



②「明日のアースを守れ！」(4年みどり学習)

「明日のアースを守れ！」の学習では、環境問題、貧困の問題、戦争など地球には様々な課題があることを知り、今のままでは地球がもたないことに気づき、自分たちのできることは何だろう、何かできることはないかを調査して取り組んでいくことをめざす。最近耳にする「SDGsってなんだろう」ということを、ゲストティーチャーを招いて学習する。そして、たくさんの国や会社がSDGsに取り組んでいて、豊橋市もSDGsの達成をめざしていることに気づく。SDGsの表す「持続可能な目標の実現」で自分たちにできることを実践することで、自分の住む地球を守り、環境を大切にしていけることができるということ学んだが、一人一人の力には限界があり、学級で、家族で、地域など、みんなで活動を広めていくことが大切であるということにも気づかされた。4年生みんなの取り組みをまとめ、SDGsをもっとたくさんの人に伝えるために、学んだことを全校や地域に発信していく。

③ SKEあいさ運動(全校)

「めざせ、あいさつ日本一」をテーマに掲げ、毎年あいさつ運動に力を入れている。年度初め、児童会運営委員が栄小のめざす「いつでも、どこでも、誰にでも、自分からあいさつのできる栄っ子」について、テレビ放送で紹介を行った。本年度は、3年生以上で「あいさつ盛り上げ隊」を結成して、全校が楽しく挨拶できる方法を工夫し、様々な活動を行ってきた。それにより全校にあいさつの輪が広がり、子どもどうし、教師、地域の方など、にこやかに挨拶をすることができた。また、挨拶の大切さを感じながら取り組めるように、毎週水曜日の朝の活動「お話タイム」の中で、挨拶についての全クラス共通のテーマで話し合いを行ってあいさつに対する意識を高めてきた。その結果、各学年・学級に応じた支援で子どもたちのあいさつに対する意識が高まり、日常の中であいさつができるようになってきた。